

令和元年度那珂市教育研究会社会科教育研究部夏季研修会（報告）

- 1 日 時 令和元年8月9日（金） 9：00 ～ 11：30
- 2 会 場 わかすぎ学園菅谷東小学校
- 3 参加者 那珂市内小中学校教員 27名 顕彰会7名
顕彰会会長増子輝雄、副会長山田正巳・根本正治、理事海老根敬・小堀優・勝山昇、事務局長仲田昭一
- 4 趣 旨 那珂市の教育方針の2本柱の一つ「郷土の偉人根本正の生き方に学ぶ」について、具体的にどのように指導に当たるかについて研修する。
顕彰会の役員をゲストに迎えて映像や講話を通して人物像に迫る。
- 5 内 容

（1）増子輝雄根本正顕彰会会長あいさつ

今回の先生方の研修会にお招きいただいたことに感謝する。これまで研究や研修を通して学んできたことを『根本正伝』や『会報』の発行及びさまざまなイベント等を開催して根本正なる人間像に思いを致しながら普及活動にも励んできた。



そのような中で、このたび先生方の研修会にお招きいただいたことに非常に喜びと感謝を感じる。将来を担う子供たちに、広い視野と人生に勇敢に挑む心を皆で伝え、育てていきたい。

（2）映像「不屈の政治家根本正」（約20分）

今後、この映像を多くの機会に視聴できるように勉めたい。

（3）講話「根本正から何を学ぶか」（事務局長：仲田昭一）

- ① 人生設計を描く・・・82年の生涯を通して区切りしてみる。26年の政治家時代の仕事
- ② 人生のバックボーンを持つ・・・自分を支える箴言等
- ③ 新鮮な感受性を養う・・・漫然と過ごしては養えない
- ④ 目標へ向かう勇気と実践力・・・失敗を恐れずに挑戦する勇気
- ⑤ 人間は神の下、法の下には平等ではあるが、個々人や民族にはそれぞれに独自性がある。それらを認め合う心を養う。
- ⑥ お互いの違いを認め合う心から平等観・平和観が生まれる。
- ⑦ 平等観からの国際平和論が生まれる。

教師によるワークショップ（「学習課題や思考ツール」等グループ毎の討議）



- ① 目標を立てることの重要性を認識させ、それを達成させるためにはどうすればよいのか
 - ② 目標達成に失敗したらどうすればよいのか。
28歳にして小学生から学び直す姿勢に驚嘆、その精神を自分のものとすることに気づかせたい。
 - ③ 古歌「踏まれても・・・」を詠った人はどのような人なのであろうか。それぞれの場面に登場してくる人々の気持ちを考えさせたい。
 - ④ 水郡線が開通したときの人々の気持ちはどのようなものであったろうか、根本正は皆が喜ぶことを進んでやっていたころとしていたのではないか。
 - ⑤ 根本正の生き方と今の自分の生活とを比べさせてどのようなことを生かすことができるかを考えさせたい。紙芝居などを作成させるのも一つである。関係者などの出前授業も歓迎したい。
 - ⑥ 煙草や酒の害などを説き、法制定にまでもっていった情熱はどこから出て来るのだろうか。また、なぜそこまでしたのだろうか。だからこそ、その禁酒禁煙法などはしっかり守らなければならないのだということを強く認識させたい。
 - ⑦ 酒と煙草と害を健康面から考える保健の授業を通して、根本正の果たした役割を考えさせたい。
 - ⑧ 根本正を身近に理解させるために、親水公園の池の畔にある記念碑を活用していきたい。
 - ⑨ 水郡線敷設推進に当たって、山方宿での完成祝辞に登場する板垣退助や原敬は、近代政治分野の教科書に出て来る。これらのことから根本正の時代や功績を考えさせてみたい。
 - ⑩ 根本正の生涯をチャート式に整理して、そこから具体的に理解を進め、自己の生き方や政治の在り方に思いを致させたい。
 - ⑪ 中学校の道徳の時間を活用して、自分と周辺の人々および世界の在り方を考えさせたい。
 - ⑫ オリンピック選手たちの夢の実現・決断・成功の姿を参考に、その差は何であるのかを考えさせる。その具体的な例として根本正の生き方を挙げたい。根本正の根底には、人と物を大切にしていこうとする心があったのではなかろうか。
- ※ 学校教育のさまざまな場面で根本正に触れながら、生き方や柔軟な思考力、実践する勇気について考えさせ続けたい。